F	(1)	2007年3月3日	The Kyodan Times	(1933年12月28日 第三種) 郵便物認可 隔週土曜日発行)	第 4621 号	7
1		教団新	所報	振替 00140-9-145275 日本	所 日 本 基 督 教 団 051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 キリスト教会館内 電話 02)0546 FAX03(3207)3918 発行人 竹 前 昇 編集主筆 竹 澤 知代志	1
2	TA.		した。 たいは に に の た に た の た の た の た の た の た の た の た	「また、聖霊によらなけれ 「また、聖霊によらなけれ 「また、聖霊によらなけれ 「また、聖霊によらなけれ が招聘されて着任した教会 の調壇に墨で大きく書かれ ていました。	メッセージ	2
3			今日の聖書に導かれて、思いを新たにしています。 この章全体を読みます時 「あなたがたはキリストの体を建てあ と記されているように、こ こはキリストの体を建てあ	のです。	ゴリントの信徒へ	3
4		ー 一 力 の 内 整 結 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	キリストの体とは教会のしには始まらないし、成長もありません。 一節に「霊的な賜物」とありますように、聖霊は私たちが神に仕え、奉仕し、	ある」の言葉を思い出しま した。パウロはどのような した。パウロはどのような そうかと。 れております。	くの手紙	4
5		丸の内教会(大阪教区和歌山	これを与えられた教会に これを与えられた教会に ついて「つまり、一つの霊 ろうと、皆一つの体となる ために洗礼を受け、皆一つ の霊を飲ませてもらったの 図	キリストの体として成長していくために、知恵や知識でいくために、知恵や知識でいた人々が集められています。 けれども一番大切な事は	い 12 章 12 章 1 2 1 2 3	5
6	「イエスは主である」と公で神であることを表すため	た書いています。 その頃のキリスト者たち でいます。 その頃のキリスト者たち る時、お互いを確かめるた る時、お互いを確かめるた る時、お互いを確かめるた のに、魚の絵を印として使	生ける神の子です」(16節) と信仰を告白しています。 たである」との手紙を書き である」との手紙を書き で赤口の時代に起こっ たいまである」との手紙を書き	です」(13節)と語られています。 一つの体をもった霊の共同体として、教会が形づく イエスを主とする「御以下を見ます時、使徒 マタイによる福音書16章 マタイによる福音書16章	3 節 る	6
7	て来られたのです。	ですってよう。 軍たちによって、どれ程多 の切支丹の方々二八九名 の切支丹の方々二八九名		- ロは「あなたはメシア、 と語られて られてまいります。 - ロは「あなたはメシア、 わたしの教会を建てる」(18 たとして、教会が形づく 生したことを指していま - ロは「あなたはメシア、 わたしの教会を建てる」(18		7
8	と迫られました。しかし、辞めるか、信仰をやめるか」 な状態に陥ったのです。 尾	一昨年末発刊出来ました	は好感の持てそうな牧師と しなが残されています。 うめ教した方は九六名、一 九七三年のキリシタン禁制	す。この点からも教会は、 聖霊のお働き無しには存在 しないのだと強調している のです。 「イエスは主である」救い 主であると言う信仰告白の た台の上に建てあげられて いるのです。 ところで私たちは教会と	三枝 道也	8

——————

9	「牧師も信仰も辞める意志 この後も牧師は刑務所で この後も牧師は刑務所で の監禁状態の中で聖霊の助 た。私たちの教会には、こ んなにも真っすぐな信仰を命 れました。 で、私たちが未だ意識もしてい ない時、すでに聖霊は働い て、私たちを導いてくださ	 の高礼撤去によって、故郷	では、この信仰はどのよっているのです。 っているのです。 っているのです。 れたちの内に完成してく たさる聖霊の業です。 見在私たちが「イエスは 主である」と信じて言い表 すことが出来るのも、私たちに優れたところがあった には神の恵みによる以外の	9 そくの信徒の方が集われる しかし聖書の語る教会の が「イエスは主である」と が「イエスは主である」と
10	一体化した時、神秘に与る の小さい手かがりで、たち とだから無理もなければ、聖 書も簡単には携帯できない でも出 ることに、むしろ並大抵で ることに、むしろ並大抵で ることに、むしろ並大抵で	<ul> <li>(に、教神秘主義の)</li> <li>(に、教神秘主義の)</li> <li>(に、教神秘主義の)</li> <li>(に、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、</li></ul>	べラ、リン べラ、リン べラ、リン べラ、リン べう、「二、漢字で書 が流行している。薔薇も林が流行している。薔薇も林り が流行している。薔薇も林が流行している。薔薇も林が流行している。薔薇も林か	10 私たちの意志の背後に、 に送り出してくださったこ とを覚えましょう。 …一月二一日礼拝にて。

 $-\phi$ 

r	第 4621 号	(第三種郵便物認可)	教団	田 新 報	2007年3月3日 (2)	7
1	今回は十九期最後の中 今回は十九期最後の中 る婦人会連合発足四〇周 る婦人会連合発足四〇周 る婦人会連合発足四〇周	中央委員会が、日本キリ で 本操中央委員(東京五支区) 本操中央委員(東京五支区) なく、 本操中央委員長 水操中央委員長 で 本名のほか、陪席者等を など、 本長に議事は を議長に議事は	(以下、婦人会連合)の日、全国教会婦人会連合本る一月二二日~二四		第55総会期第一回「新潟県中越地震」被災教会会堂第二回「新潟」の「新潟」の「新潟」の「新潟」の「新潟」の「新潟」の「新潟」の「新潟」の	1
2	徐々に理解されてきてい、 に立って共に学び連 響書に立って共に学び連 聖書に立って共に学び連 聖書に立って共に学び連 でがしつう教会に仕えてい により、	で 活動報告を承認。この中 間 で た で 思 の し し し し し し し し し し し し し	所)による開会礼拝に引牧師(武蔵野横須賀伝道第一日目は、吉川幸子	していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。 していた。	、 「月二」「、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	2
3	第二日〜三日目にかけ ては、聖書の学び、二〇 ては、聖書の学び、二〇 では、聖書の学び、二〇 た。 主題については、「今期	年間の諸の中で、婦人会の意味が会と丁寧 「教会婦人会連合中央委員会 しる問題があるなどの課みマタイ じる問題があるなどの課みマタイ しる問題があるなどの課みマタイ しる問題があるなどの課みマタイ しる問題があるなどの課みマタイ	化、教会内の組織改変等に、会員の高齢化、有職るとの前向きな報告と共		は 一年延期に なので開かれた被災五教会連等再建支 で開かれた被災五教会連絡 た。 なる教 ので開かれた被災五教会連絡 た。 るる教 ので開かれた被災五教会連絡 た。 のる教 ので開かれた被災五教会連絡 た。 のる教 ので開かれた被災五教会連絡 た。 のる教 ので開かれた で開かれた で開かれた で開かれた で開かれた で別 のかれた で別 のかれた で別 のかれた で別 のかれた で別 のかれた で別 のかれた で別 のかれた で別 のかれた で別 のかれた での別 のかれた での別 のかれた での別 のかれた での別 のの のの別 のの別 のの別 のの別 のの別 のの別	3
4	区・教会の課題の共有」 「主体とは?」など議論 、©「連帯する教会 決定。©「連帯する教会 、このまま継続と のあと、このまま継続と であったが、一項目ずつ	S=Q(A) の の の な の た の て 明日の 宣 教 を 担 う 期のまま、 聖 書 箇 所 の た 。 、 半 数 は し 合い を 重 と し っ た の に つ い て し の に つ い て し の に つ い て し の に し る に る 福 音 書 に つ い て し 合 い た の に し る い た の に う は し 合 い た の た の た の た の た の で あ た の に し る 福 音 書 に つ い て の た の た の た の た の た の た の た の た の た の に つ い て の に つ い て の に つ い て の に つ い て の に つ い て の に う し 合 い た の た い つ い て し つ い た の た の た し う 」 は し 合 い た の の た し つ い て の た の た の し 合 い た し つ い の た の の た し つ い た し つ い た ひ し つ い た い て の の の た し 合 い た し つ い た い て の の た し つ い た ひ の の の た し 合 い た た し う い た ひ し つ い た ひ た し う い た ひ し つ い た ひ つ つ い た ひ し つ い た ひ し つ い た ひ し つ い た ひ し つ い た ひ し つ い た ひ た し つ い た ひ し つ い た ひ し つ い て つ い て の の た し つ い て つ い て の つ い て つ の つ た し つ い つ つ い て つ の う し つ い て つ い ろ の つ い ち つ い ろ つ い つ つ い て つ い つ い て つ い て つ つ い つ つ い つ つ い て つ つ い つ つ つ つ つ い て つ つ つ つ つ つ つ つ い つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	に書き出し、分団→全体を継承」と「変更」が半々	小出教会建	<ul> <li>6 一年延期に</li> <li>※予定地を視察</li> </ul>	4
5	デディング 四の周年全国集会につ いては、各小委員会、教 いては、各小委員会、教 いては、各小委員会、教 のの九年六月二日午前~ 三日午後、場所/千葉・	平和を希求するこの項に関連して 「婦人」を「女性」にと 「婦人」を「女性」にと 「婦人」を「女性」にと 「和して今回は見送られ れの活用や、「にじのい れの活用や、「にじのい にしのい た。 の項に関連して 一 にと	会を覚える」 を加	() 第11 第11 第11 第11 第11 第11 第11 第1	(2)栃尾教会==消雪パイプ、 (2)栃尾教会==消雪パイプ、 (2)栃尾教会==消雪パイプ、	5
6		<ul><li>この</li><li>この</li><li>この</li><li>この</li><li>による</li><li>引</li><li>引</li><li>この</li><li>による</li><li>引</li><li>引</li><li>による</li><li>引</li><li>引</li><li>による</li><li>引</li><li>によう</li><li>し</li><li>こ</li><li>こ</li><li>し</li><li>こ</li><li>こ</li><li>し</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li><li>こ</li></ul>	<sup>準 C /</sup> 備 の – 委 大 五		(4)         (4)         (4)         (4)         (4)         (4)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1)         (1) <td< td=""><td>6</td></td<>	6
		た。 いくことを を かして え を 吸って た。	6	* 本 活 35 れ い 日 定	建タ 三キ援に 四ら会 第 支   今、を募あ(2) 二 増期 34 ~ ど援ト総支送金て一京え第	
8		も、分量等の条件を満たして、分量等の条件を満たしていない志願者にはした。今回も「釈義」において一部注解書等の丸写しのて一部注解書等の丸写しので、また、採点対象ではないた。また、採点対象ではないれての採点結果の確認がな	験資格の確認、提出物につ	た。 た。 た。 に で に で に で に で に で に で に で に な さ れ た た こ と 等 の 報 告 が な さ れ た た こ と 等 の 報 告 が 承 新 師 検 に で 信 原 力 委 員 長 よ た に な っ て 行 う こ と に な っ て 行 う こ と に な っ て 行 う こ と に な っ て 行 う こ と に な っ て 行 う こ と に な っ て 行 う こ と に な っ て 行 う こ と に な っ て た っ て 行 う こ と に な っ て 行 う こ と に な っ て 行 う こ と に な っ て 行 う こ と に な っ て て う 、 こ と に な っ て て う 、 こ と に な っ て 行 う こ と に な っ て て う こ と に な っ て て 、 て ち れ 、 て の て て う て た 、 ち れ ち れ う て た に な っ て て う こ と に な っ て て う こ と に な っ て て う こ と に な っ て て う て う て ち ろ れ う て 行 う て た う て う て う こ と に な っ て て う 、 う 、 ろ 、 ち ろ て 行 ら て ろ 、 ち ろ て う て う て う ち ろ て ろ ろ て う て ち つ て ろ う う こ ら て ち つ て う う こ と に な っ て ろ ろ こ ら て ろ て う て う こ ろ た ち て ろ て う て ろ て う て う ろ こ と 等 の ろ て う て う こ と 等 の ろ て ろ う て ろ て の て ろ て う て ろ こ ろ て ろ て う つ て う ち ろ て ろ ろ ろ ろ ろ つ て う ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ こ ろ こ ら つ て ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ	総会期第八回教師検」教師検定試験の終了までは 新年度においても支 特した。 なったこと。 第業および募金目標 「一円。六一四件。 行した。 なったこと、 一門のに定においても支 が得られず、近隣の再建すたのに 第、八回教師 が得られず、近隣の再建用 「一門のの記慮お願いのハガ しよる地盤崩壊のため、同 かした。 第、川地の新規購入が必要 たなったこと。 の記憶が借地に建っていた。契 たるれず、近隣の再建用 「日のの正律でした。 「日のの記念をし、再 「日のの記念をし、再 「日のの記念をし、再 「日のの記念をし、」 「日のの記念をし、」 「日のの記念をし、」 「日のの記念をした。」 「日のの記念をし、」 「日のの記念をし、」 「日のの記念をし、」 「日のの一時でによいても支 「日のの一方」」 「、二」 「一一の。六一四件。 「日のの一方」」 「、二」 「一一一の。一一四件。 「」 「一一一の。一一四件。 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	8





(2) 募金目標額

員会に提案することとし 八千万円とし、七月の常議 ため、目標額一億五千万円 地購入資金が必要となった の会堂・牧師館の再建に土 に三千万円を増額し、一億 上記、見附・小出両教会

を、申請された二名に対し 四名)、正教師七名(秋季試 コース十七名、Cコース十 ち方を協議し、決定した。 時間割、全体会と面接の持 当日の責任分担、試験日程、 験コースの決定と科目認定 であるため保留とした。受 希望者一名は、書類が不備 である。他教派からの転入 験不合格者のみ)、計七四名 て行った。その他、学科試験

受験費用援助申請が受験

となったこと。
区総会に向けて四月に発行地を購入し、移転すること
③支援ニュースの作成。教 する。

(4)見附教会、小出教会の購 入土地を視察。

の使命を強く覚えた。 立ち、神のお導きと私たち 今年は降雪量が少ないとは いえ雪に覆われた再建地に 委員会二日目の午前に、

(樋田利明報)

これを検討し、決定した。

試験において正教師試験を 受験することが出来るよう にすることを決定した。 二〇〇九年の春季教師検定 者に対しては、特例として 六年十一月に准允を受けた 兵庫教区において二〇〇

って備えられることを期待 する。 の祈りがあることを覚え の背後に、主の選びと教会 が与えられた。一人ひとり 時であり、真摯な学びをも る。伝道者としての出発の 今回も多くの受験志願者

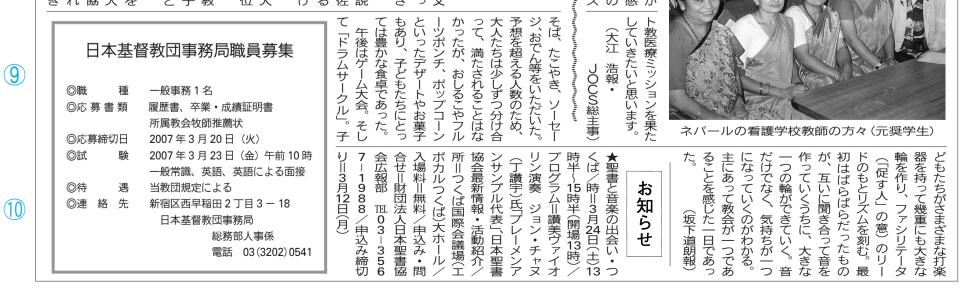
(小堀康彦報)



9

10

		$\uparrow$		
	(3) 2007年3月3日	教 団 新 報 (第三種郵便物認可) 第 4621 号		
1	王〇〇四年度から「千葉支区間格差です。 本す。 第二〇〇四年度から「千葉支区間格差です。又どうしたら各 「二〇〇四年度から「千葉支区は、 大三 教会電教協力制度」が発足しまし	<b>Go to the</b> ~キリスト教医療ミッションの現場から~③ <i>JOCS 日本キリスト教海外医療協力会</i> びウンンイと援以	1	1
2	し話 りい合と 三くの 酸のと た	マガンド・インドネシア・カー派遣 しています。対象者 「このの名に及 の方子シュ・ネパール・ シングラデシュ・ネパール・ シングラデシュ・ネパール・ シングラデシュ・ネパール・ シングラデシュ・ネパール・ シングラデシュ・シューカー派遣	2	2
3	副一会で「 一葉での」 「 して、 教会・ に 子葉支区 の に 一葉支区 して して、 教会・ に 子葉支区 の に 一葉支区 の して して 、 ま な の して 、 ま な の して して 、 ま な の ら 、 ま た 長 ら 、 ま た 長 の ち の ち の に の に で 動 か ら 、 ま た 長 の ら 、 ま た 長 の ら 、 ま た 長 の ら 、 ま た 長 の ら 、 ま た 長 の ら 、 ま た 長 の ら 、 ま た 長 の ら 、 ま た 長 ら の こ の の の し っ ト し っ ト し つ か し っ た 長 ら の こ の ち の に の の し の し の た し の た 長 ら の ら の に ち の に の ら 、 ま た ら し の に の の し の の し の の し の の し の の し の の し の こ の の こ の の の こ の の の こ の の の こ の の の こ の の の こ の の の こ の の こ の の ら の こ の の の こ の の ら の の こ の の の の の こ の の の の ら の の の の の の ら の の ら の ら の の の の の の の ら の の の ら の の ら の ら の の ら の ら の ら の こ の の ら の こ の の ら の ら の ら の の の ら の ら の ら 、 の ら 、 の ら の ら の こ の の ら の こ の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の の ら の ら の ら の の こ の の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら ろ ろ の		3	3
4	のために九三万円が用いられ、幾 つかの貸出金のためにも積み立て られています。 も個教会の足腰が強められ、お 互いを覚え、支えあうためにこの すしています。 でも検討され、千葉支区長がしています。 更にそれが長期宣教検討委員会 でも検討され、千葉支区にもっと を始め、支区負担金について検 さわしい制度が出来ていくこ とでしょう。 (東京教区千葉支区長)	やうリスチ やん。しか この病院で働い この ないたち ないたち ないかねばなりません。 ないたちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちは、彼らの草の根の たちはない。神様です。立ち 上がって下さい。そして、 たちしくされ、信じられ、 たちょこをどうか一人	4	4
5	We do the second	い。『汝の敵を愛せよ」のなければ、平和作り、「光の子、あつまれ!」「光の子、あつまれ!」「光の子、あつまれ!」「光の子、あつまれ!」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	5	5
6	Fранирали $F$ ранирали $F$ р	TO TO TO TO TO TO TO TO TO TO	6	6
7	年間いてきた。そして今回 第一回目の「子ども大会」 を開催した。 そして今回 でいる教会も少なくないと でも、でも、同じ神様を礼 聞く。でも、同じ神様を礼 聞く。でも、同じ神様を礼 したくさんいるということ を感じて、「わたしも、ぼく も、教会に行き続けよう」 という励みになればと願っ ている。	一 が 小学生 向けの プログラー が 男 に は た し た の た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た し た の み た に し て の た し た し た し た の た し て の た し て の た し た し た の た し て の た し て の た し て の た し て の た し て の た の た し て の た し た し て の の た た し て の の た し て の の た し て の た し て の た の た し て の の た し て の の た し て の た の た し て の の た し て の の た し て の の た し て の の た し て の の た し て の の た し て の の た し て の の た し て の の た の た の た の た の た の つ た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た た の た の ろ の た の た の ろ の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の し の た の た の た の た の た の た う ひ し の し ひ ひ つ の た の つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ ひ つ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ ひ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	1	7
8	た、おにざり、下してしたたさ の皆さんや諸教会のご飯、 があって、たくさんの子 でしてお昼ご飯。会場を そしてお昼ご飯。会場を そしてお昼ご飯。会場を た、おにぎり、豚汁、やき		8	8



9

10

9

(10)

	第 46	21 둑	3			(第三	三種垂	邹便牧	勿認可	1)				教		可		新		報							20	007	年3	3 月	3 ⊟	]		(4)		Т
小規模教会ですが、付属の保育園川谷教会は礼拝が十五、六人の	その背後にあります。	生きたことの証し、また付属施設	みです。 数会関系者が 也或の中これ られている とても不 思議な 歩	ない所に教会が建てられ、受け入	れました。神社もお寺も建てられ	めた家庭礼拝から川谷教会が生ま		6、ない。 は持ち込まない。 共同性を重んじ	護るために桜等は植えない。宗教	した。例えば、農作物を害虫から	{ <b>F</b>	<b>Z</b> ŝ			_							C	e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	全体が優先されるルールがありま	ます。コミューン崩壊後も個より	ミューンが形成されたこともあり	開石間もない頂の数手でしたがコ素培(山野草の生産力盛んてす	広告、J予想の !!!!!!! を シデー。 レタス、ジャガイモ、シイタケの		地に変えられました。高地のため	村からの開石民こよって荒也が農	同日への)一時台の正確)とうそにより開拓された地区です。満州	たが、戦後の食糧増産の国家政策	で、元々川谷は軍馬の養成地でし川名地区にの標高がCCmの高原	一谷をま、黒いこう)っていた	
域の祈りが教会の	すが、保育園を通し	ると考えています。	業が展開されてハ	福を見ていて、保育	ことの中に神の祝	もがしっかり育つ	川谷教会では、子ど	いうノードセージ、	聘できる事業と考	会が専任牧師を招れまて、保育園経営は教	することです。教会はこ	うに響く「育ち」を支援	てて福音が通奏低音のようなな		教 中高生、そして若い親た			上 も子どもたちの育ちに関田 に、低者國を予慮した後	t 、 現		の課題とな	かり育つ」は、教会の宣	子が申り愛を印し、しっせん。保育園の理念一幼	た大きな祝福を思わずにはおれま	と、神の不思議な導きと与えられ	います。このような現実を考える	たちを呆育園を通して送り出して	し、神いいのにいいで見てするを続ける保育園の核とな	山村の小さな教会が、地域の子育	を信じて巣立っていくわけです。	年主の一割が伸こ斤ノ、伸の呪冨		が、他の地	ほどで、地区的には過疎化が進んす。近くの小学校に全核生まで人	には百十名の園児が集っていま	
		うして								्र दे	しながらこの文章を書いていま	神が働いておられる、そう実感	す。す。	- セージを発言」売ナてくれていま- の育ちに関わりキリスト教のメッ	教会のボランティアと共に子ども	んが、 人気は上々です。 主事が数	子どもたちは来ることができませ	るため、親の送り迎えがなければ	の礼拝と分級を土曜日一日に延は	土曜教室を始めました。日曜学校	して、今年度から卒園生を中心に	みです。センター事業の先取りと	た。近隣の教会の礼拝を応援する	な配慮も出来るようになりまし	されて礼拝は豊かになり、細やか	ています。それぞれの賜物が活か	谷教会の宣教こ力を示くしてくれ	りし、は ます国の 三耳にいて、 ー	聘することが出来ました。一人は	二〇〇五年に二人の伝道師を招	す。す。	を支え、川谷に神の祝福を求める	が祈られます。川谷教会は保育園	たちのこと、そして保育園のこと	中に生まれます。礼拝ではいつも	
について、更に捧げられた	信徒が自由献金として積極		一 是案可央された「支える軍 4月、一年、第2日の教団総会て	こと・北海			進		+	る課題などについて、用意			職年金制度(以下教団年金)、高林豊氏など素に教育が	•	τ	田口千亩		の推進委員西村佳子氏の開	(は				めdhで、 5東京牧区・ 311良で、 日本基督教団阿佐ヶ谷		二〇〇七年一月十二日	_	隠う	艮孝	敎師	帀を	支	え	る	軍重	カ」	
会した。	栄牧師の閉会祈祷を以て閉終りに阿佐ヶ谷教会大村	え 続いた。 続いた。	る。 等々の 発言 が 寺 間ま で		は、	けよう。  〇教師は、 特に隠	わすことのないように心が	◆○いこついて申経を頁	年金制度を維持すべきであ	ないが、そのためにも教団	会が福音を宣べ伝えるため		の話をした。	が先生ば三万円こしたい等一円であるが、近い将来事情	る。特に現在はお一人二万	スマス祝金をお贈りしてい	六年度は九〇八名)にクリ	師とご遺族の方々(二〇〇	協 記 の 資 金 と し て 教 団 年	めの年	隠退された教師と遺族のた	教団年金制度が出来る前に	団甲金司こ、②一九六四甲	5	献金が以下のように使われ		祈り		治ま	ы 9, а	<b>F</b> り	で閉	UG	na		
隅から始まり、使徒たちの命懸け			ったこ見るか、国支の目業が世界  この現状を 相撲か世界に広ま			一方、土俵ではモンゴル勢を筆	しまった。		げられているが、初場所前に、	真「優勝額」三二枚が優勝順に掲   両国国技館には   優勝力士の写		ailltheddhadttheddhadttheddhadtthadtheddheddhadtthad	■ つめて来た池田さんにとって、 ■ うめて来た池田さんにとって、	●●●●	を捧げているといっても過言で	● している。 教団のためにすべて		■ 西南支区常任委員、教団レベル ■ 間々新・で見見教区官置考し	■日を逢って見え女子背置を見てして見たな子でした。	_	職である。	)	自 営り実務の責任者として、一 主事はお金の出し入れなど、		▲ 主事、管理人、荘母などの働き	に就任した。信愛荘には荘長、	11 田告二さんが作夏、言愛住主事	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●		nthithauti 上 池			e e			
て」との持論を			「界」の手を迎えるが		の世界化とさ		くて、を見、耳、たもの		るかのよう	2掲 ッパ全体を、表現5写 の伝道て 地中海		allhn-Athadlltn-Athadlltn-A	5	て見 ノなどで捕った	- 7			、ル 残り三分の二は	<u> </u>	Ĩ			一段の安く叩えへんで、「運のたく」のたいので、「運のたく」のためのたいで、「そうないです。」では、「そうない」では、「そうない」では、「そうない」では、「しん」のたい、「しん」のない。」のようない、		2	4	工事(言愛住です政治	金金	信		±^			金を	Ŧ	

 $\phi$ 

9	をが「福音の和服仕立の をしたが、それ を展開したが、それ	WWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWW	(i & & ) 0
10	は、日本人に受容され易い福音を 構索するかのようであった。 なわらの総合としての日本キリスト 教もあるが「何が、人を永遠に真 なるを得ない。 を考えると、地上 の力・恵み・ご利益の限界を思わ ざるを得ない。 を考えると、地上 の力・恵子に乗 っ取られることが必要ではないか …。 、教団副議長 小林 眞	営を中心になって務めて来たのが池田さんだった。 ホームはいうまでもなく全国のの隠退教職・教職夫人のためのものだが、設立時の経緯から、現在でも東京教区が西東京教区の協力を得て運営に当たっており、献金も両教区が中心となっている。 「全国の教友でまだ信愛荘のことをよく知らない人がいるのではないか。もっと知って欲しい」という池田さんは、「隠退教職を支える車の両輪は、年金と信愛荘だと思っている。隠退した先生方が安心しても維持したい」と強く願っている。	1931年、兵庫県西宮市生まれ。 霊南坂教会員。06年8月、信愛 荘主事就任。

 $-\phi$ 

\_\_\_\_\_